

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

2015年 県産品奨励月間標語
第39回 沖縄の産業まつりテーマ

「あ、いいね! 使って納得 県産品」

美ら海からはばたけ
沖縄の「ものづくり企業」

- 第31回定時総会
- 2015県産品奨励月間
- 「元気カンパニー」(株) 沖縄トータルサービス

2015
7月号

Vol.608

月刊 **工連** ニュース 7月号 2015 Vol.608

- 2p ▶▶ 2015年 県産品奨励月間 ごあいさつ
沖縄県知事 翁長 雄志
県産品奨励月間実行委員会会長 呉屋 守章
- 3p ▶▶ 2015年 県産品奨励月間 第1回実行委員会
- 4~5p ▶▶ 2015年 県産品奨励月間スタート
- 6p ▶▶ 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会
那覇市立 金城小学校
- 7p ▶▶ 2015年 県産品奨励月間の主な事業
- 8~11p ▶▶ 私たちも県産品奨励月間を応援しています。
- 12~13p ▶▶ (公社)沖縄県工業連合会 第31回定時総会
- 14~15p ▶▶ キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
思いやりつまったアンマーの味を次代へ繋ぐ
株式会社沖縄トータルサービス
- 16p ▶▶ ちばりよ~県産品
県民食「沖縄そば」ミラノ万博初参加
沖縄生麺協同組合
- 17p ▶▶ 食品表示基準に係る説明会
消費者庁

- 18p ▶▶ 沖縄県食品産業協議会 第38回通常総会
(一社)沖縄県発明協会平成27年度 第5回社員総会
- 19p ▶▶ 学校と産業界の交流事業「出前授業」の意義
福島特許事務所 弁理士 福島康文
- 20p ▶▶ 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
電気自動車用ハイブリッド電源の負荷配分
- 21p ▶▶ 沖縄職業能力開発大学校
『LSIデザインコンテスト in 沖縄』
準優勝・敢闘賞 W受賞
- 22p ▶▶ 沖縄高専だより
沖縄高専定期企業懇談会
参加企業の募集について
- 23p ▶▶ 工業技術センターだより
試験研究・検査設備機器の紹介 vol.②
- 24p ▶▶ トピックス
湧川昌秀氏より
「オグレスビー氏産業開発基金」へ寄附
平成27年度
学卒求人確保に係る主要経済団体への要請
会員の皆様へ

2015年 6月 工連日誌

- | | |
|--|--|
| 10日(水) 第31回定時総会・表彰式・懇親会
●時間/16:00~20:00 ●場所/ホテル日航那覇グランドキャッスル | 21日(日) 第2回 学校と産業界の交流事業
●時間/10:40~12:00 ●場所/うるま市立勝連小学校 |
| 12日(金) 2015年 県産品奨励月間 第1回実行委員会
●時間/14:00~15:00 ●場所/ホテルロイヤルオリオン | 24日(水) 7月定例執行部会
●時間/10:30~11:50 ●場所/沖縄都ホテル |
| 15日(月) 2015年 県産品奨励月間事業に関する説明会
●時間/14:00~15:00 ●場所/沖縄産業支援センター | 平成27年度 第3回理事会
●時間/12:00~13:30 ●場所/沖縄都ホテル |
| 17日(水) 沖縄県食品産業協議会 第38回通常総会・懇親会
●時間/16:30~20:00 ●場所/ザンプラザ海邦 | |

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守 相談無料

- 知財専門家が窓口へ常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です

 **0570-082100** (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 / 実施：一般社団法人沖縄県発明協会 ☎ **098-921-2666**

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター6F
電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679



スイッチをつけると
照明が部屋を明るく照らす。
ボタンひとつでテレビがついて、
電子レンジは夕食を温めてくれる。
会社のパソコンが、工場の機械が、
人々の仕事を助け
暗くなると街灯はいつの間にか
夜道をやさしく照らしている。
意識することなく
毎日の暮らしの中にある電気。
その電気を確実に
あなたのもとへ届けること、
それが私たちの仕事です。
毎日の暮らしの中で意識されないこと。
あたり前と感じてもらえること。
今日もスイッチをつければ
何事もなく明かりがつくこと。
それが私たちの誇り。
必要な人、待っている人、その暮らしの中へ
安全に。



県産品奨励月間

ごあいさつ



沖縄県知事
翁長 雄志

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

7月1日から31日までの1か月間は、県産品奨励月間です。

県産品奨励月間は、県産品の愛用について県民の皆様に広く理解していただくとともに、沖縄県の産業の振興及び雇用の拡大を図ることを目的としています。

沖縄の地域特性を生かした県産品は、生産技術や品質の向上とあいまつて、その種類や内容も多様化し、多くの県民に支持されるとともに、県外及び海外にも認知度が高まってきています。

沖縄県としても、引き続き、県内企業への優先発注及び県産品の優先使用を積極的に推進し、需要拡大を図る

ほか、多様化する消費者ニーズに合った県産品の開発や加工・製造の促進に向け、更なる技術力向上を支援してまいります。

月間中は、「あ、いいね! 使って納得 県産品」の標語の下、街頭キャンペーンや沖縄県推奨優良県産品展示会、ふるさと企業訪問等県内各地で様々なイベントを通じ、県産品の魅力をアピールします。

多くの県民の皆様が、この県産品奨励月間を契機に、誰もが使って納得する県産品のすばらしさを改めて認識していただき、これまで以上に御愛用くださいますようお願い申し上げます。ゆたさるぐとぅ、うにげーさびら。



県産品奨励月間
実行委員会会長
呉屋 守章

今年も「県産品奨励月間」がスタートします。この活動は、県産品を愛用することで沖縄県が豊になることを、県民の皆様が再認識していただく目的で実施いたします。

沖縄県が自立型経済の構築に向けて策定した「沖縄 21世紀ビジョン 基本計画」では、「ものづくり産業の振興」「県産品の販路拡大と地域ブランドの形成」といった地場産業振興に向けた事業を強く押し進めることになっていきます。

地場産業発展の一番の近道が「県産品の愛用です」。県民一人一人が県産品を愛用することで、雇用の確保と創出、所得水準の向上など地域社会の発展につながり、ひいては沖

縄の自立経済に向けて、大きな原動力となります。

この機会に、一人でも多くの方々に、県産品をもっと知っていただき、愛用していただきますことを切に願っております。

2015年 県産品奨励月間 第1回実行委員会

平成27年6月12日(金)
ホテルロイヤルオリオン

今年も県産品奨励月間を迎えることとなり、第1回実行委員会が6月12日(金)ホテルロイヤルオリオンにて開かれました。県内需要創出による景気の維持・拡大を図り、経済の活性化を促進するために昭和59年に沖縄県によって策定された「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」に基づいて1か月間、県産品奨励に関する各種行事及び広報キャンペーンを集中的に実施することとなっております。

沖縄県、沖縄県工業連合会等19団体で構成される県産品奨励月間実行委員会によ

子さんによる「あ、いいね! 使って納得 県産品」となり、10月に開催が予定されている第39回沖縄の産業まつりをはじめ様々な行事、イベントで使用されることとなっております。標語をより引き立てるポスターは株式会社宣伝による作品が最優秀賞を受賞し、標語、ポスターそれぞれの部で入賞した個人、企業に対して呉屋会長より表彰状と副賞が贈られました。審査委員を務めた沖縄工業連合会桑江修専務理事は「県産品の魅力を広くPRするための力強い表現力とインパクトが現代のニーズに合致している」と講評を述べています。

る1回目の委員会では、呉屋守章実行委員会会長を議長に、2015年県産品奨励月間実施要領(案)、設置要綱について等様々な事項に関して審議されました。主な事業についての質疑応答やより効果的な普及活動を図るための意見交換も活発に行われています。

また、2015年県産品奨励月間を広くPRするために欠かすことのできない標語とポスターの選定審査結果報告、表彰式も同時に行われました。

今年の標語は沖縄県土地対策課 仲村留美

より多くの県民に県産品の価値を伝え、地場産業振興、雇用拡大を通じて豊かな沖縄県を作るため、今年も様々な取り組みが予定されています。本年度より実行委員会会長に就任した呉屋会長は「参加企業の意見にも積極的に耳を傾けながら例年以上に県産品奨励月間を盛り上げていきたい」と抱負を述べ、委員会が中心となり関連企業・団体が一丸となった取り組みができるよう理解を求めました。



期間中の主な事業について効果的な普及活動を図るため、様々な意見が活発に交わられました。



最優秀賞に選ばれたポスター

2015年 県産品奨励月間スタート

「あっ、いいね! 使って納得 県産品」



県産品奨励月間実行委員会
会長 呉屋守章氏



沖縄県(県知事代理)
産業雇用統括監 宮城 行夫氏



那覇市副市長
知念 覚氏



連合沖縄
事務局長 高良 恵一氏



7月1日、国際通り街頭パレードを開催



ため県産品の積極的な愛用を求めました。また、翁長雄志県知事(代読・宮城行夫産業雇用統括監)も、「県内企業への優先発注、県産品優先使用に関して沖縄県としても積極的に取り組み、県産品の価値、技術向上を支援していきたい」とし、経済界と行政とが一体となり事業の成功に向けて努力することを約束しています。

この日より1か月間、県産品奨励のための様々な行事、イベントが用意されています。その第一歩にふさわしいパレード、セレモニーとなりました。

2015年県産品奨励月間がスタートし、7月1日那覇市国際通りにて街頭パレード及びセレモニーが実施されました。

県産品奨励月間の幕開けを華々しく飾るイベントとして毎年開催されているパレードは本年度も素晴らしい晴天に恵まれ、経済、行政等、関連する19団体で構成された実行委員会を中心に約250人が参加しました。

さらに、宜野湾高校マーチングバンド、泡盛の女王、ミス那覇、ミス沖縄、オリオンキャンパインガールも街を歩く人々に向け笑顔で手を振るなど華を添えています。

「一行は今年の標語である「あ、いいね! 使って納得 県産品」の文字が記された横断幕を掲げ、牧志公園から県庁前県民広場までの道のりを歩き、県産品の愛用による地域経済活性化や雇用拡大などの効果についてアピールしました。

パレード終了後は県庁前県民広場にてセレモニーが行われ、呉屋守章実行委員会会長をはじめ各団体代表者が挨拶しました。呉屋会長は「県産品愛用による地場産業発展、地域活性化により地域経済社会がより発展していきます」と述べ、豊かな沖縄県をつくる

2015年 県産品奨励月間の主な事業

月日	事業内容	実施主体
5月中	●学校給食における県産食材の優先使用についての文書要請	工連
6/12(金)	●県産品奨励月間第1回実行委員会	実行委員会
6月中	●市町村、JA、企業等に対する県産品使用奨励の懸垂幕、のぼり等の設置協力依頼 ●関係機関等へのポスター配布(1,290カ所)	沖縄県、工連 市長会・町村会 沖縄県・工連
6月下旬 7月下旬	●「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」及び「大型プロジェクト建設工事発注方針」についての県の要請	沖縄県
月間期間中	●広報メディアによる広報	実行委員会
7/1(水) ~31(金)	●平成27年度みんなでグッジョブ運動強化事業	みんなでグッジョブ運動 推進本部
7/1(水)	●学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会	工連
7/1(水)	●街頭パレード(牧志公園~県庁前県民広場)(16:00~16:30) ●街頭キャンペーン 那覇市:県庁前県民広場(16:40~17:00) 宮古:マックスパリュ宮古南店 石垣:ユージュレナモール	実行委員会
7/1(水)	●地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請活動	県連:34商工会
7/2(木)	●国、県、関係機関への要請(14カ所)	5団体
7/3(金)	●国・県関係出先機関への要請(国:6カ所、県:6カ所)	5団体
7/6(月)	●食品関係大口需要者への要請(14カ所) ●建材関係大口需要者への要請(12カ所)	5団体 〃
7/7(火) ~16(木)	●市町村、議会等に対する県産品使用奨励の要請活動(91カ所)	5団体
7/1(水) ~31(金)	●わしたショップ国際通り本店、那覇空港わしたショップ周年祭	沖縄県物産公社
7/2(木) ~8/3(月)	●泡盛同好会・フェア 同好会:7/7 宇部泡盛の会・7/16 北海道泡盛同好会・7月中旬 関西泡盛同好会 フェア:7/2~6 イオンライカム、7/16~20 北関東イオン、7/30~8/3 イオン新潟	県酒造組合 協同組合琉球泡盛古酒の郷
7/6(月) ~10(金)	●沖縄県優良県産品展示会 場所:県庁1階県民ホール	沖縄県
7月上旬	●食と子どもの健康展 県内量販店	県学校栄養士会、県学校給食会
7月中	●平成27年度マンゴー販売促進キャンペーン 1.「マンゴーの日」セレモニー 2.JAファーマーズ、道の駅等におけるフェア 3.県内外量販店等におけるフェア	JA、県農水産物販売促進協議会 果樹フェスティバル実行委員会
7/22(水) 7/29(水)	●ふるさと企業訪問(実行委員会構成団体 他) ●ふるさと企業訪問(公募による一般消費者)	沖縄県・工連
7/24(金)	●県産建材・リサイクル関連企業訪問	工連
7/31(金)	●沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会	沖縄県・工連
7月下旬	●地場産物を活用した献立調理発表会	県学校給食会・県学校栄養士会
8月中旬	●県産品奨励月間実行委員会(実績報告会)	実行委員会



学校給食における 児童生徒を囲んでの昼食会

那覇市立金城小学校のみなさんと
沖縄県産食材を使った
「おいしい給食」をいただく

2015年県産品奨励月間関連事業として、県産品の日(7月1日)のパレード、セレモニーと同日に学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会が行われました。
児童生徒が日頃より接している学校給食の場において、県産食材のおいしさや大切さについての理解を深めることを目的として平成17年度より実施されているものです。
今年はその那覇市立金城小学校が実施学校となり、呉屋守章 県産品奨励月間実行委員会会長をはじめ、城間幹子 那覇市長、渡慶次克彦 那覇市教育委員会教育長、砂川博紀 沖縄県農業協同組合代表理事理事長、他、関連団体代表者が生徒たちと昼食をともにしました。

当日の献立にはゴーヤーやモウイといった野菜やまいゆ等の県産食材が豊富に使用された他、料理を盛り付ける食器も琉球漆器を取り入れるなど、県産の食材や品物をより意識できるよう工夫されていました。
開始時にはやや緊張気味だった生徒たちも徐々に慣れ、和気あいあいとした楽しい食事会となりました。呉屋会長は、挨拶の中で、自身の子供の頃にふれ、生徒たちを和ませながら、「県産のおいしい食材をたくさん食べて元気に育ってください」と話しました。
各団体代表者と子供たちがコミュニケーションを深め、県産品の魅力について語り合うことができた有意義な時間となりました。



私たちも県産品 奨励月間を応援しています。



琉球ガラス村
RYUKYU GLASS CRAFT



沖縄の海水塩 「**青い海**」

シママース本舗
株式会社 **青い海**
ROIUMI

TEL 098-992-1140
FAX 098-994-8464
<http://www.aoiumi.co.jp>




琉球泡盛 **残波**
プレミアム
RYUKYU AWAMORI
ZANPA PREMIUM

有限会社 比嘉酒造
URL: <http://www.zanpa.co.jp>

ハイウェイ沖縄

鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
(ISO9001 審査登録)



拓南製鐵株式会社

代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川3-2-4 ☎ 098-832-0588
新中城工場 沖縄市海邦町3-2-6 ☎ 098-934-6822
石灰工場 名護市字安和 2656-2 ☎ 0980-53-8018

沖縄製粉株式会社

代表取締役会長 竹内 聡
代表取締役社長 竹内 一郎

〒900-0035 沖縄県那覇市通堂町1番1号
TEL(098)868-3141 FAX(098)868-8279
<http://www.okifun.com>

必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



人の手のぬくもりが
原点です。

県産品を心で包むお手伝い。




株式会社 **ざまみおんボール**

工場 TEL.098-992-1616 糸満市西崎町4丁目7番
FAX.098-992-1155

県産品を愛用しましょう。


郷土の資源で郷土をつくる



琉球セメント

代表取締役社長 西村 聡


県内唯一!
サッシ形材製造



金秀アルミ工業株式会社

代表取締役社長 比嘉 治彦

日本工業規格認証工場(認証番号)GB0907002



東洋コンクリート株式会社

代表取締役 新垣 一明

西原町字兼久218番地 TEL(098)945-2762~4

ゆめちから入り
塩バターパン

バターと塩の風味豊かな
食卓パンです。

イラストレード・花柄不使用



「ゆめちから」の
小麦粉を7.5%使用
(小麦粉中)

好評発売中



あなたの暮らし丸ごと応援!

JAおきなわ

蒟蒻ゼリー シリーズ

こんにゃく

- シークワーサー
- タンカン
- パインアップル



沖縄県産フルーツを使用した
食感楽しい蒟蒻ゼリー



夏を彩る
贅沢な味わい。

麦芽100%×アロマホップ100%

知念ありか

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
のんだあとはリサイクル

信頼で創るより良い環境



電気設備工事・電気通信工事・消防施設工事 施工

沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聡

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728

私たちも県産品奨励月間を応援しています。



株式会社 嘉数グラビヤ
まもち、つつみ、つながる。
KAKAZ

県産品 Fresh! ANMAR



株式会社ホクガン

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術




株式会社 技建

代表取締役社長 津波 古義 秀
日本工業規格表 承認工場
ISO 9001.140001 認証取得

本社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX098-945-1181

- オキボール ●沖縄ハイボール ●照明・防球ネット用ボール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ボール ●ボール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCパイプ
- 高支持力杭工法及び各種杭工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工

コンクリートテクノロジーの未来をみつめて



沖縄テクノブリード株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本社 〒900-0003 沖縄県那覇市字安謝620番地 TEL.(098)868-2522
海邦工場/〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512

元祖紅いも菓子本舗

御菓子御殿

元祖紅いもタルト、生誕30周年。

これからも御菓子御殿「元祖紅いもタルト」よろしくお願ひします



永年の施工実績を誇る
安心・安全・信頼の品質「既製コンクリートくい」



株式会社 リウコン

代表取締役社長 大城 正治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065
www.riukon.co.jp リウコン 検索

住み良い豊かな環境を創る



株式会社 開邦工業

県内唯一の一般都市ごみ焼却炉・火葬炉メーカー
焼却施設のメンテナンス、修繕・補修工事

関東一円で展開する県内産のエンジニアリングをご活用下さい。

本社/うるま市字州崎7-19
東京支社/東京都港区芝2-6-3 6F
茨城県さしま事業所・沖縄市営業所・与那原営業所・南城営業所
<http://www.kaiho-k.co.jp>

バグフィルターのことなら カイホウおまかせ 検索

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する

沖縄鑄鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定
マンホール鉄蓋 第17-1号 再生プラスチック第11-2号

代表取締役
眞志喜 実

西原町字小那覇958番地
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924



十年貯蔵古酒

梅乃邦

数々の国際賞受賞



沖縄県酒造協同組合 0120-43-94-92 <http://www.awamori.or.jp>

meiji 明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

技術と真心で奉仕する



有限会社 沖縄長生薬草本社
OKINAWA CHOUSEI HERB CORP.

代表取締役 下地 清吉

本社 沖縄県南城市佐数字仲伊保116-1番地
TEL: (098) 947-3214(代)
FAX: (098) 947-3219
TEL: (098) 947-3946
<http://www.cho-sei.co.jp/>

本米へつなぐ一食

トータル天然だし
(500g・200g・10g×12袋)

- ★塩無添加
- ★化学調味料
- ★酸化防止剤不使用
- ★水溶性カルシウム

トータル天然だしや完全天日塩を使用した沖縄の伝統食や、お魚を使ったお惣菜等各種取り揃えております。

株式会社 沖縄トータルサービス

代表取締役 大城守広

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町4丁目17番地19
TEL(098)994-9948・FAX(098)994-9983 <http://totaldashi.com>



ダンボール・パッケージの

総合紙器

(098) 992-1111



ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336



卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホームナル

代表取締役社長 比嘉 昌治

いいね〜、これ!!

久米島の久米仙パウチタイプ13度

内容量 900ml
アルコール分 13度

久米島の久米仙 www.k-kumesen.co.jp

お酒は20歳になってから。妊産婦の飲酒はお控えください。お酒は適量に。県産品を愛用しましょう。



公益社団法人沖縄県工業連合会の第31回定時総会が6月10日(水)那覇市のホテル日航那覇グランドキャッスルにて開催され、会員企業が一堂に会しました。

定時総会では、まず平成26年度の収支決算について報告され承認されました。また平成27年度に予定されている主な事業や取り組みについての説明も行われました。昨年は那覇空港滑走路増設事業や一括交付金を活用した事業の開始により、景気や雇用 に一定の効果が現われており、今年度もこれらの事業による沖縄振興策を原動力とした本格的な景気浮揚の到来が期待されます。沖縄県工業連合会における主要事業である「県産品奨励事業」及び「沖縄の産業まつり」を中心とした地場産業振興に向けた各事業を推進することで会員の承認を得ました。

また、今年度は役員(理事及び監事)改選の年となっており、定款第13条により総会において役員が選任されました。前年度まで会長を務めた湧川昌秀氏が顧問となり、新会長には金秀アルミ工業株式会社副会長 呉屋守章氏が就任しました。

座間味勲(株式会社さまみダンポール社長) 副会長、島袋清人(沖縄電

公益社団法人 沖縄県工業連合会

平成27年度 第31回 定時総会

平成27年6月10日(水)
ホテル日航那覇グランドキャッスル



【第11代会長】
湧川 昌秀氏



【第12代会長】
呉屋 守章氏



【新副会長】
座間味 勲氏



【新副会長】
島袋 清人氏



力株式会社取締役部長) 副会長、がそれぞれ新任し、新たな執行部によって平成27年度の各事業が執り行われることとなっています。

定時総会終了後はオグレスビー氏工業功労賞をはじめとする各賞受賞者の表彰式、スローガン斉唱、来賓を招いての懇親会も行われ、会員同士が互いの実績を称えあい、交流を深める有意義な時間となりました。

第31回 定時総会受賞者

- 優良従業員賞(53社91名)
 - 優秀技能者賞(12名)
 - 創意工夫功労者賞(6名4グループ)
 - 第49回オグレスビー氏工業功労者賞
- (株)トリム
代表取締役会長 新城 博 氏
(株)御菓子御殿
代表取締役会長 澤峯カズ子 氏

平成27年度オグレスビー氏産業開発基金特別功労者賞

沖繩カス株
顧問 湧川昌秀 氏

感謝状

沖繩電力株
代表取締役副社長 知念克明 氏



長年の功労に対しての感謝状を受けて、挨拶を述べる知念克明氏



第23回 古波津製造業育成基金

- 製造業起業賞
 - 技術功労賞
- 農業生産法人 株はごも牧場
代表取締役 新城将秀 氏
技術の名称 山羊の乳製品製造・販売
- (株)エコライフビジョン
代表取締役 大嶺光雄 氏
技術の名称 小型海水淡水化装置の開発

助成金交付(人材育成助成金)

- なは市青少年女発明クラブ (会長:新垣昌光)
- 図書贈呈
- 宮古島市立 平良中学校
宮古島市立 北中学校
宮古島市立 久松中学校
宮古島市立 鏡原中学校
宮古島市立 西辺中学校
宮古島市立 狩俣中学校
宮古島市立 池間中学校



オグレスビー氏工業功労者(写真左:新城博氏・写真右:澤峯カズ子氏)



オグレスビー氏産業開発基金特別功労者(写真右:湧川昌秀氏)





株式会社沖縄トータルサービス
代表取締役 大城守広



糸満市の工場では惣菜の製造がほぼすべて手作業で行われています。



セプトや中身を変えることなく新しい挑戦を考えています。

「私自身、小さな頃から母親が作ってくれたトータル天然だしを使った食事を取って育ちましたから、商品のよさはよく理解しています。それだけに、もっと多くの人にトータル天然だしを知ってもらいたい、毎日の食事に取り入れてもらいたいという思いが強いのです」と語る守広氏。現在は60〜70代が顧客層の多くを占めていますが、今後は30〜40代の若い子育て世代に向けてアピールしていきたいとしています。

「単独世帯の増加や夜型の生活スタイル、欧米型の食生活によって、子供の成長に必要な栄養を摂取することが難しい世の中になってきています。共働き世帯も多いため、仕事や子育てに忙しい主婦が手軽に栄養価の高い惣菜を作るためのサポートができればと考えています」

和食がユネスコ無形文化遺産登録されるなど、日本人の食生活と和食が持つ高いクオリティが世界的に注目されています。日本食の基本である「だし」の魅力をもっと一度思い出ししてもらいたいと守広氏は語ります。その一歩として現在取り組んでいるのが新ブランドの立ち上げです。「卓善」と名付けられた新ブランドは、流行に敏感な若い主婦層の支持を集めることを目的に、これまでのイメージを覆すスタイリッシュなパッケージデザインを取り入れています。



キラリ!
元気
カンパニー
沖縄の未来を
照らす企業

思いやりつまった アンマーの味を次代へ繋ぐ

株式会社 沖縄トータルサービス

無添加純天然だし
素材へのこだわり

化学調味料を一切使用しない究極の天然だしとして県内のみならず広く知られる「トータル天然だし」。いわし、かつお、昆布、椎茸、無臭ニンニク、さとうきびなどの厳選された素材を使い、化学調味料や酸化防止剤に頼らず市販のだし特有のエグ味や臭みを排除した沖縄生まれの天然だしとして、健康に気を遣う主婦層を中心に売上を伸ばしています。

生みの親である株式会社沖縄トータルサービスの創業者大城美智子氏は、昭和58年に学校給食用の食材提供をはじめ、子供たちの食生活を間近に見る中で、より健康によいものを探求して現在のトータル天然だしを開発しました。「自らの子供に与えたい食材」をテーマに一般家庭の主婦の目線に立った素材選びによって作られただしは豊かな風味と豊富な栄養価が評価され、成人病予防や子供の発育によいとされています。

沖縄復帰30周年を記念した通信販売番組で大きく取り上げられたのをきっかけにその魅力が全国的に周知されることとなり、売れ行きは徐々に上昇、現在では糸満市に拠点を移し、工場の規模も拡大しています。三枚肉やごぼう、昆布といった沖縄の食卓や行事に欠かせない食材・惣菜の加工・販売も手掛けており、沖縄の

食文化を支える存在となっています。

現在、代表取締役を務める大城守広氏は創業者の息子に当たり、先代が積み上げた実績と信頼を受け継いだうえで新しい挑戦にも意欲を燃やしています。

「先代から会社を引き継いでまず最初に取り組んだ仕事は『企業理念を作る』ことでした。これまでは明確に設定されていなかった企業理念を作り、社員全員が同じ目標を持つことで、意識の向上、方向性の共有がもたらされると考えました」

守広氏が制定した「心から誇れるものを作り出す、心から喜ばれるものを作る」という企業理念は毎日社員によって唱和され、従業員の意識も大きく変わったといえます。

「部署間の綿密なミーティングや積極的な新社員雇用により、会社全体により刺激を与えることができたのではないかと考えています。とはいえ、私自身まだまだ経験が浅いので、開発、製造、営業とできる限りすべての業務に関わり、熟練の社員に教えを請いながら日々学んでいるところなんです」

新ブランドにより ターゲット層拡大図る

創業から30年の間、ほぼ同じ素材や製造法によって作られてきたトータル天然だしですが、現社長の守広氏は、コン

さらに、現在は県外の業者に委託している製造過程をいずれ全面的に自社で賄えるようにしたいとし、西表島のカツオや与那国島のマグロなど県産素材にもこだわった商品作りに意欲を見せています。「将来的には食材も製造もすべて沖縄という100%県産だしを作りたい」という大きな目標を掲げ、社員とともに日々努力と工夫を積み重ねている守広氏。「日本の素晴らしい食文化を大切に次世代へつなげていきたい。子供たちの健やかな成長が明るい未来を作ります。そのためにはまず各家庭の食卓から見直す必要があると考えます。長寿県沖縄を取り戻し、伝統的な「だし」の文化を広くアピールしていくため、今後邁進していきます」と抱負を語りました。



株式会社沖縄トータルサービス
業種 トータル天然だし製造販売、給食用食材加工等
設立 昭和58年10月
代表取締役 大城守広
住所・連絡先 糸満市西崎町4丁目17-19
TEL.098-994-9948・FAX.098-994-9983
http://totaldashi.com/
オフィシャル
サイト



ちばりよ〜県産品

沖縄生麺協同組合

●那覇市小祿1831-1 沖縄産業支援センター203-3
 TEL 098-859-5855・FAX 098-859-5856
[http:// oki-soba.jp/](http://oki-soba.jp/)



県民食「沖縄そば」ミラノ万博初参加

沖縄県内の製麺加工及び販売を行う事業者により組織される沖縄生麺協同組合では、おもに沖縄そばの普及・ブランド確立を図るための活動を通して沖縄の食文化を広めています。一般財団法人食品産業センターの「本場の本物」に認定されるなど、県内のみならず広く全国で周知されており、各メディアからも大きく注目されています。

普及活動強化が進められる中、国内のみならず海外にも沖縄そば文化を広めるため、今年5月にはイタリア・ミラノ国際博覧会(万博)に初参加。日本の風土や職人の技を紹介する「日本館」イベントにおいて、沖縄そばの麺打ち実演や試食を行いました。

「本場の本物」ブランド推進委員会により認定された約30品目が日本食代表として紹介されたこのイベントでは、鹿児島市「明石屋」のかるかんや岐阜県高山市「飛騨山椒」の山椒など全国各地の伝統食品が来館者に振る舞われ、世界各地から訪れた人々の舌を楽ませました。

中でも沖縄そばはイベントのトップバッターとして実演を行い、5日間のイベント期間中6回のステージで総計約1,500食が即品切れになるなど好評で、日経新聞をはじめとする国内メディアや海外メディアにも大

きく取り上げられました。

担当者として現地に渡った沖縄生麺協同組合伊波興健副理事長は「同じ麺でも沖縄そばはイタリアの Pasta とは大きく異なります。欧米の人々に沖縄そばの麺やスープが受け入れられるかどうかという不安はありましたが、実際に来館者の反応を見ると概ね好評のようで安堵すると同時に沖縄そばの大きな可能性を実感しました」と話します。

万博では、かつおだしを使った定番の沖縄そばとトマトベースのスープでアレンジしたミラノ風沖縄そばの2種を出品していますが、いずれも好評であり、試食した来館者を対象に行ったアンケートでも「麺の食感がよい」、「あっさりとした、だしの風味がよい」といった好意的な感想が多く見られました。

一般的に食されているゆで麺(チルド)は日持ちしないため、沖縄そばの海外展開は難しいとされていましたが、今回の万博参加のため、三倉食品とサン食品により、ゆで麺に近い食感と風味を残した冷凍麺が開発されています。

「今後さらなる改良を重ね、アジア、欧米諸国にも沖縄そばの魅力を発信していきたい」と伊波副理事長は意気込んでいました。

食品表示に係る説明会

平成27年6月17日(水) 那覇市パレット市民劇場ホール

平成27年4月1日より食品表示法が施行され、新しい食品表示制度がスタートしました。同日施行された食品表示基準について関連する通知、Q & A が3月に発出されており、全国9か所で消費者庁による食品表示基準に係る説明会が開催されました。

沖縄県においても、6月17日那覇市パレット市民劇場ホールにて開催され、食品表示基準について、アレルギー表示の変更(原則として個別表記となり、特定加工食品およびその拡大表記が廃止、一括表示をする場合に使用されたすべてのアレルギーをまとめて表示する等)、加工食品の栄養成分表示の義務化、新たな機能性表示制度創設等従前の制度からの主な変更点や通知、Q & A の重要な点について説明されました。

これまでの食品表示法は食品衛生法、JAS法及び健康増進法の3法によって形成されていましたが、目的が異なる3つの法律にルールが定められていたため、複雑な制度と

なっていました。新しい食品表示法は、3法の食品の表示に関する規定を統合したものであり、食品の表示に関する包括的かつ一元的な制度を創設するものとなっています。

栄養成分表示の義務化も可能となり、消費者の日々の栄養・食生活管理による健康増進への寄与も期待されています。

加工食品と添加物は5年、生鮮食品は1年6か月の猶予期間が設けられていますが、速やかに表示の切り替えを行うためにも最新の情報を入手しようと、食品関連企業及び団体から多くの参加がありました。細かいルールやタイムスケジュールに関する質疑応答も活発に行われ、有意義な時間となりました。



ステージ上での実演では、通訳による解説と大型画面でわかりやすく、沖縄そばの作り方が説明されました。また、会場での試食サービスには「琉装」のスタッフにより、沖縄をアピールし来場者の注目を集めました。

沖縄県食品産業協議会 「第38回通常総会」

平成27年6月17日(水) サザンプラザ海邦

沖縄県食品産業協議会の第38回通常総会が6月17日那覇市のサザンプラザ海邦にて開催されました。

桑江良一会長を議長に進行された総会においては、まず平成26年度の事業報告が行われ、理事会、執行部会及び沖縄の産業まつりへの参画事業「食品フェア」をはじめとする事業概要等について詳細な報告がありました。また、平成26年度収支決算書、貸借対照表についても理事会で決定され、会員からの承認を得ています。

さらに、平成27年度事業計画書(案)、収支予算書(案)についても審議され、いずれも承認されています。企業間商品取引推進事業や新食品表示制度に係る説明会等、本年度も重要な事業や企画が多数予定されており、より一層強い意識向上と密な連携体制が求められています。

また、本年度は役員改選の年となっており、総会において理事及び監事が選任されています。

新任の会長に選出された沖縄製粉株式会社 竹内 一郎社長は、「若輩者ではありますが、沖縄県の食品業界の発展にすこしでも寄与できるように努力します」と抱負を語りました。株式会社沖縄トータルサービス 大城守広社長、株式会社沖縄ホーメル 比嘉昌治社長他7名が新任となり、監事には南風堂株式会社 長濱光江会

長株式会社 藤久寿 桃原敏専務がこちらも新任として承認されています。会終了後には来賓も招いての懇親会も行われました。会員相互の親睦を深めつつ、めまぐるしく変化する食品業界の中、新たに承認された役員のもと一丸となって各事業に取り組むことを改めて誓い合う貴重な時間となりました。



【第5代会長】
桑江良一氏



【第6代会長】
竹内 一郎 氏



事業などの各報告に続き、本年度の重要事業についても活発な議論が交わされました。



(一社)沖縄県発明協会 平成27年度第5回社員総会

平成27年6月18日(木) 沖縄県工業技術センター

沖縄県における発明の奨励、知的財産権制度の普及及び人材育成等を目的として設立され、県内産業の振興発展に寄与している一般社団法人沖縄県発明協会の第5回社員総会が6月18日うるま市の沖縄県工業技術センター講堂にて開催されました。

新垣昌光会長(オリオンビル株式会社)代表取締役副社長、公益社団法人沖縄県工業連合会(副会長)が議長となり、平成26年度の事業報告ならびに収支決算承認について、また平成27年度の事業計画、収支予算について等様々な議案について審議が行われました。

議案のひとつとして、任期満了に伴う役員改選も行われ、新執行部の顔触れも決定しました。新垣会長を中心に会員、役員、事務局が一丸となってさらなる技術向上、県内産業発展に努めることを確認し、本年度の総会も滞りなく終了しました。

また、子供たちが抱く未来への夢、自由な発想を絵によって表現することで科学への関心を深め、想像力の発達を促すことを目的として毎年開催されている「未来の科学の夢絵画展」の表彰式も同日執り行われ、受賞した子供たちが壇上に上がりました。新垣会長より表彰状と副賞が授与された子供たちの嬉しそうな表情

が場の空気を和ませていました。受賞作品は講堂の壁に展示され、総会前後には役員や参加者が足を止めて子供たちの自由な発想と未来への希望が表現された作品に見入っていました。会終了後は受賞者の子供たちと家族も招いての懇親会が行われ、食事を楽しみながら会員同士の親睦を深めました。



(一社)沖縄県発明協会
会長 新垣昌光氏



学校と産業界の交流事業「出前授業」の意義

福島特許事務所 弁理士 福島康文

相手をしている人間の表情まで読み取って対応するロボットが、20万円程度でソフトバンクから発売されたそうだ。受付開始1分で完売したという。

世の中がコンピュータ時代になり、このような技術が普及して来ると、技術の進歩を勉強する子どもたちの負担も大きくなる。私が子どもの頃には、そんな心配をする必要も無かったのだが…。

ところで、最近の新聞報道によると、万年ビリの沖縄の子どもたちの学力テストの成績が大幅に伸びたと、教育関係者は喜んでいるようだ。前記のような技術の急速な進歩振りを考慮すると、子どもたちの成績がいつまでも低迷しているようでは、教育に関係していない者や親たちも不安になる。

しかし、学力テストの成績が向上したのは良いが、過去問に追われて、肝心な子どもたちが元気を無くしたり、うつ病を発病したりしないか、心配しているようだ。本当だとすると、成績向上も一時的な現象かと、心配になって来る。

子どもたちが元気に遊び回っているのを見ると、大人は安心するが、学力テストが原因で落ち込んでいると聴くと、心配になって来る。沖縄の将来を担う子どもたちのために、何か役に立ちたいものだ。子どもたちの毎日の勉強が、何のために必要なのか理解できないから、勉強嫌いという子どもも多いようだ。そのような子どもたちは不幸だし、教えている先生方も気の毒だ。工連が産業界と教育界との交流事業の一環として行なっている「出前授業」や7月の県産品奨励月間に行われる「親子で参加できる工場見学」は、子どもたちが将来社会に巣立ったときに役立つことを経験するのに好都合だ。しかも、好奇心旺盛な子どもたちだから、進んで参加するに違いない。

この間(6月21日)、勝連小学校の依頼で出前授業を行なったが、3年生～6年生が対象で、私のクラスは25名でした。私がかねてから考えていた小学3年生も対象になっていたので、満足でした。

特に低学年者は、成人して社会人となったときに、学校における勉強が役立つとは理解できずにいる。しかも、低学年時の基礎を十分に理解していないと、高学年に進んでも皆に付いて行かず、勉強嫌いの原因となる。

従って、小学2年生程度の低学年時から、学校の勉強を十分に理解しておく必要があるが、幸いに好奇心は旺盛だから、普段とは異なる出前授業には、子どもたちが興味を示しそうな発明品も持参して、写真のように各自が手に取って好奇心を満たせる時間も用意してある。

そして、このような発明品を理解し自分で発明できるようになるには、学校で教わる理科や算数を理解することが重要で、日頃の勉強の必要性を理解させる。日頃から、問題解決のテクニックを発明品で理解させると呑み込みも早くかつ関心を持ってくれる。

将来、職場で上司の指示で発明し特許を取った場合は、その発明の価値に応じて優遇され、または自分の独占権にしたり、法律的に国から保護されることを説明し、発明に対する積極性を喚起したい。また、新聞報道によると、高卒も学卒も若年層の早期離職率が本土よりも高いそうだが、出前授業や工場見学で、勉強の目的意識をもたせたり就職後の待遇の向上などを納得させることが有意義であろう。





『LSIデザインコンテスト in 沖縄』 準優勝・敢闘賞 W受賞



■概要

LSIデザインコンテスト・イン沖縄とは、国内外の大学生によるLSI設計技術を競うコンテストです。2015年で第18回を迎え、その間に、国内の大学・高専からの参加が大幅に増えたばかりでなく、アジアを中心に韓国、インドネシア、ベトナムなどの海外の大学からの参加も順調に増え、今や100件以上もの応募がある大規模なLSI(大規模集積回路)設計コンテストに成長しています。



2015年2月に開催されたコンテストでは、「三角関数演算ユニット」のハードウェア設計がテーマとして出題されました。国内外を含めて100チーム弱のエントリーから本選(沖縄招待)に12チーム(国内8、海外4)が選出され、その内の2チームが沖縄職業能力開発大学校から選ばれました。2008年から優秀な設計チームに電子情報通信学会(スマートインフォメディアシステム研究会)のアワードを贈呈されています。この中で、当大学校チームは準優勝と敢闘賞を頂きました。

第18回 LSIデザインコンテストin沖縄2015 結果発表



2015年3月13日、琉球大学50周年記念会館(沖縄県中頭郡)において、「第18回 LSIデザインコンテスト in 沖縄2015」の最終発表会が開催された。

課題は「三角関数」であり、16ビット固定小数点でsinとcosを出力する演算ユニットのハードウェア設計だった。当日のプレゼンテーションを基に四つの視点から評価し、入賞チームが決定した。

▲電子情報通信学会SIS賞(最高得点)

Ethersound Ganeca (Institut Teknologi Teknologi Bandung, Bagus Hanindhito, Hafez Hogantara, Annisa [stiqomah])

▲日本シノプス賞(FPGA実装の視点) いろいろいか

(千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻、修士1年、鈴木智大、的場駿介、松下卓也)

▲Electronic Device Industry News賞

(応用面の視点2チーム)

TFE(千葉県大学院工学研究科人工システム科学専攻、修士1年、川口梨紗花、風早優太、川島徹也)

electron7(沖縄職業能力開発大学校、生産情報システム技術科、1年、桑江純一、城間盛将、牧志亮)(敬称略)

入賞チームでは、Ethersound GanecaがCORDICアルゴリズムを15段パイプライン化していたが、それ以外の3チームはいずれもテーブル方式を採用していた。

具体的には、形を変形したり、制度に影響のないビットを省略したりして、テーブルのサイズを小さくする工夫を行っていた。課題で与えられた精度(小数点以下8ビット)が得られることは、MATLABなどのツールを活用して検証していた。

FPGAボードを使ったデモンストレーションを行うチームが増えている。今回は、設計した演算回路を用いて、画像回転を行ったり、DDSを構成してFM変調や音声出力を行ったりしていた。

<http://www.lsi-contest.com/>

LSIデザインコンテスト実行委員会
沖縄県

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校(学務課まで)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

電気自動車用 ハイブリッド電源の負荷配分



浦崎直光(琉球大学工学部電気電子工学科・教授 urasaki@tec.u-ryuyu.ac.jp)

【研究の紹介】

電気自動車の主電源である蓄電池は、充放電の繰り返しによる性能劣化が知られています。今後、電気自動車が普及していくためには蓄電池の長寿命化が重要な課題です。本研究では、図1に示すように充放電による劣化のない電気二重層キャパシタを併用した電源システムを提案しています。ただし、電気二重層キャパシタは蓄電池と比較して蓄えられるエネルギーが極端に少ないために、そのエネルギー管理が重要となります。そこで、加速時に消費されるエネルギーと減速時に回生されるエネルギーの収支に基づいて、蓄電池の劣化防止と電気二重層キャパシタのエネルギー管理を同時に実現するための両者の充放電制御法を開発しています。

図2は国土交通省が認定した自動車の燃費算出で利用されているJC08モードにおける速度データに基づいて算出されるエネルギー収支を基に、電気二重層キャパシタのエネルギーを確保しつつ、蓄電池の劣化が抑制されるように充放電制御した場合のシミュレーション結果を示しています。JC08モードは、図2(a)に示すように加減速を繰り返す運転であり、図2(b)に示すような電力の充放電が繰り返されます。本研究で開発している充放電制御を用いると図2(c)で示すように、充放電で相殺される電力を電気二重層キャパシタが担い、蓄電池が平均電力分のみを担うため、蓄電池による充放電回数が抑制されることになり、その劣化が抑制できると考えられます。

図2(d)で示すようにエネルギー収支に基づいているため、電気二重層キャパシタのエネルギーが枯渇することなく、負荷配分が実現できています。

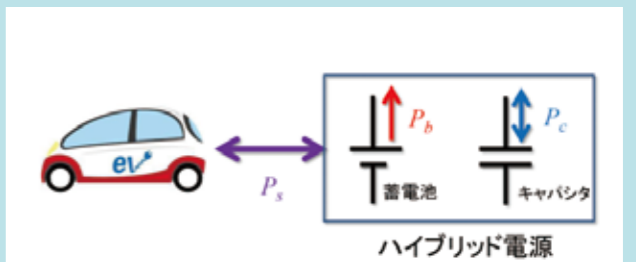
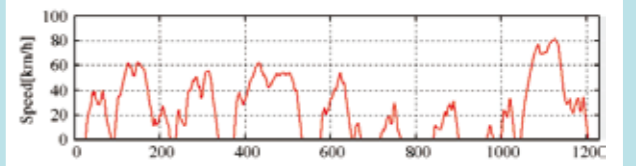
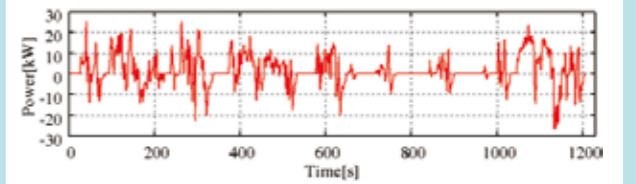


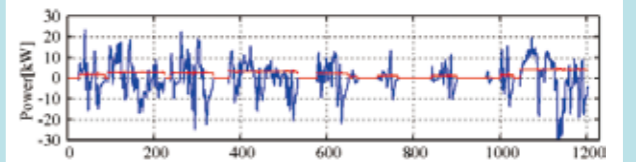
図1 ハイブリッド電源



(a) 速度

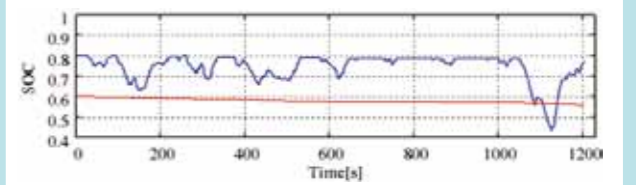


(b) 電力



(c) 負荷分担

(変動分が電気二重層キャパシタの電力 P_c)



(d) 充電状態

図2 JC08モードを想定した充放電シミュレーション結果

琉球大学工学部後援会事務局(環境建設工学科内)

TEL:098-895-8640 FAX:098-895-8677



工業技術センターだより Okinawa industrial technology center

試験研究・検査設備機器の紹介 vol.②

沖縄地域における新たな産業創出や企業の海外展開に向けた研究開発・技術開発を支援するため、新たに10機器を設置しました。(前月号にて、5機種を紹介しています。) 装置の使用法等について、ご支援しますので、ぜひ、ご活用ください。

菌汚染等の迅速・簡便な検査を行う装置

食品の衛生管理に必要な微生物汚染の測定を早く簡単に
行うことができます。

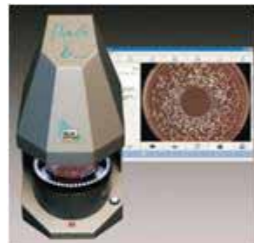


食品微生物 迅速自動検査機器

食品中の細菌数を自動検査します。

自動スパイラル プレーター

寒天プレートへの自動サ
ンプル塗布が可能です。



自動コロニー カウンター

寒天プレート上等の生物コロニー
数を画像処理で測定します。

ATP 拭取り機

食品加工設備機器等の洗浄度を10
秒ほどで測定します。



金属材料の構成元素等を測定する装置

金属材料の構成元素や不純物の
含有量等が、非破壊で現場測定
ができます。

ハンドヘルド型 蛍光X線分析装置



本機器は「平成25年度補正予算事業 地域オープンイノベーション促進事業」により導入されました。(内閣府 沖縄総合事務局)

お問合せ先

沖縄県工業技術センター 技術支援班

〒904-2234 沖縄県うるま市州崎12番2 TEL:098-929-0114 FAX:098-929-0115

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology



沖縄高専定期企業懇談会 参加企業の募集について!!

地域連携推進センターの取り組みの一つとして、下記のスケジュール表のとおり沖縄工業高等専門学校産学連携協力会会員企業等による企業懇談会を、毎月第4木曜日の午後(16:10~17:10)に企画しております。

懇談会は、企業の業務内容の把握、企業のニーズ(企業が抱えている課題等)の引き上げ及び企業と沖縄高専(教職員や学生)の距離感を縮めることを目的としており、本校での講演や企業訪問、後半部分では企業の方と参加者との座談会も予定しております。

懇談会を通して、自社の誇る技術や製品の紹介や業務内容とともに就職後に必要とされる技術や知識等についてもアドバイスいただければと思います。

また、学生に加え教職員も参加しますので、今後の連携を築く上でも有益な場にしたと考えております。

沖縄高専の学生や教職員に自社の誇る技術や製品を紹介したい、或いは、学生や教職員と意見交換がしたいと希望される企業の皆様は、是非、下記担当者まで、ご連絡ください。

平成27年度 産学連携協力会会員企業等による定期企業懇談会スケジュール表

●開催日:原則第4木曜日に開催 ※日にち、時間は調整できます。

月日	日時	場所	企業名	備考
4月23日(木)	16:10~17:30	視聴覚ホール	サンリゾートメーション株式会社	終了
5月28日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6	株式会社セルテック	終了
6月25日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6	オリオンビール株式会社	実施企業決定
7月30日(木)	16:15~17:45	創造・実践棟2階 講義室2-6	沖縄県発明協会	実施企業決定
8月~9月	-	-	-	夏期休業により未実施
10月22日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6		
11月26日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6		
12月17日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6		冬期休業に入る前に実施
1月28日(木)	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6		
2月 ※日にちは調整	16:15~17:15	創造・実践棟2階 講義室2-6		終業式前に実施

定期企業懇談会(講演)のこま



定期企業懇談会(企業訪問)のこま



定期企業懇談会担当

沖縄工業高等専門学校 総務課 研究連携推進室:伊波、佐加伊、守田

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-55-4070 FAX:0980-55-4012

E-mail:skrenkei@okinawa-ct.ac.jp ホームページ: http://www.okinawa-ct.ac.jp/



OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

湧川昌秀氏より「オグレスビー氏産業開発基金」へ寄附

6月12日、本会顧問の湧川昌秀氏(沖縄ガス(株)顧問)より、オグレスビー氏産業開発基金に対し15万円の寄附がありました。湧川氏は去る6月10日に開催された本会の第31回定時総会後の表彰式において、オグレスビー氏産業開発基金事業の運営に尽力し、同基金の発展に多大な貢献があったとして、オグレスビー氏産業開発基金特別功労者賞を受賞されました。

同基金は米国民政府職員として赴任し、県経済の振興に献身的に尽くされた、故サムエル・C・オグレスビー氏を記念して1967年に設立されたもので、工業関係学生への奨学金の授与や工業功労者に対する表彰を行っています。



湧川顧問(左)より桑江専務理事に寄付金贈呈

学卒求人確保及び求人票の早期提出に係る要請

来春の新規学校卒業予定者の採用枠拡大及び求人票の早期提出について理解と取り組みを求める要請及び意見交換が6月16日那覇市の沖縄産業支援センターで行われました。

沖縄労働局によると、景気回復等により、今年4月の県内における有効求人倍率は0.80倍となり、本土復帰以降の最高値を記録しており、県内雇用情勢に改善が見られているとのことですが、平成27年3月末の高等学校卒業者の就職内定率は88.4%と前年同月比で1.2ポイント上回ってはいるものの、全国平均の98.8%には未だ遠く及ばないのが実情です。

本年度も厳しい状況が予想される中で、翁長雄志県知事は、「行政機関、教育機関、経済団体等が連携し、「みんなでグッドジョブ運動」の展開や新規学卒者へのきめ細かい就職支援が必要」として、より多くの応募機会を確保することを参加者へ訴えました。



公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか?

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先
公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味



自社製品のピーアールに「県産品マーク」を使用してみませんか?

公益社団法人 沖縄県工業連合会

沖縄県産品
マーク表示制度
について



県産品マークとは...

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にさせていただくと同時に、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

1 沖縄県産品マーク表示申請資格

- (1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
- (2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
- (3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。



2 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

3 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

4 申請料金

1製品につき30,000円

県産品マークに関するお問い合わせ/公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL:098-859-6191 担当:仲間

Orion

爽快という、うまさ。

NEW!



オリオン生ビール ALC.5%
[非熱処理]

DRAFT BEER



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル

